

洋書輸入協会会報

VOL. 15
NO. 5

(通巻169号) 昭和56年 5月

理事会報告

3月26日(木)

(一) 定時総会関係

(1) 5月12日(火)3時から5時まで学士会館(本郷)において開催することを決定。終了後恒例のパーティーを開催。

(2) 総務委員会作成の56年度予算案について審議の上、決定。

(二) BDC 代表团

BDC(Book Development Council) 代表团名簿が到着したので、意見を交換。(別項参照)

(三) Directory

委員会から3月27日校了となる旨の報告があり、委員会の提案にしたがい、販売代金を200円あげることとした。

4月10日(金)

(一) 定時総会関係

(1) 3月分取支計算を審査の上、55年度決算を決定。

(2) 会員あて定時総会開催通知の内容について検討の上、決定。

(二) BDC 代表团

BDC 代表团から理事会と話合いたいとの希望が表明されたが、テーマが明確でないので、当方から問い合わせることとした。

(三) IBSA

さきに情報が提供された IBSA は二年程前に設立された会社で、規模の詳細は不明ではあるが、小さい会社である、という調査結果が報告された。

(四) その他

新入会員のお知らせ

今回次のかたがたが入会されましたので、お手許の会員名簿にご記入願います。

正会員

株式会社ニュートリノ 代表取締役 山本義朗

〒107 港区赤坂 8-4-7

カームビル ☎405-6137

太陽洋書株式会社 代表取締役 成瀬 功

〒101 千代田区神田和泉町 1-1

同和ビル 2 F ☎866-9897

| | | |
|-------------------|---------------------------|------------------|
| 理事会報告..... 1 | Book Review No.76 4 | BDC代表团名簿 5 |
| 新入会員のお知らせ..... 1 | 総代理店ご案内..... 4 | 来日外人名簿..... 5 |
| 本の本 No.20 2 | 海外ニュース..... 5 | 広告..... 6 |

中央アジア シルクロードの洋書を溯る (4)

八木佐吉

今回は二十世紀前期のロシアの大探検家、考古学者 P. K. コズロフの登場である。西夏文化史の解明に重大な、関わりもある人なので、少し詳しく書くこととしたい。

ブルジュヴァルスキーが第5次中央アジア地域探検実施の当初に1888年10月20日急逝したところで、前回は終っているが、この計画は門下の M. W. ペフツォフを隊長として、V. I. ロボロフスキー等とともにコズロフも参加して行われた。東トルキスタン、コンロン、ジュンガリア地域を探検調査した。次いで、コズロフは同志らとともに、1893—95年に天山東部、南山山脈、ツァイダム、東トルキスタンの地理的調査探検を果して、1897年報告書を出して、世人に注目され、第二のブルジュヴァルスキーと目されるようになった。

ピョートル・クズミッチ・コズロフ (P. K. Kozlov, 1863—1935) は、モスクワの西方スモレンスクの一隅で生れた。家畜業者の子で、酒造工場に勤めている中に、19才のとき、近くに居たブルジュヴァルスキー將軍と面識して、才能を見いだされ、やがて、その探検隊の助手として連行され訓練を受けて、実地に地理探検学をマスターした。そして、この十九世紀ロシア帝国の生んだ大探検家ブルジュヴァルスキーを生涯の師とし、その歿後は、師の未完の事業の後継者となり、しかも、それらを大成している。

コズロフは軍籍に入り、生涯の大部分の年月を中央アジア各地及び周辺のモンゴリア、チベットの一部、四川、陝西などの各地の探検、考古遺跡発掘に費やした。1845年に創立されたロシア地理学協会のパトローネージに負うところも大であった。これは、ロシアが清国と北京条約などのあとをうけた、東進、南進策でますます助長された国策遂行の一部でもあったのである。

いずれにしても、コズロフ達探検家は、ロシアの中亜、チベット、モンゴリア、など、探検の最盛期に巡りあったことも、その成果に幸じたことであった。

他にも、博物学者ポターニン (G. N. Potanin,

1835—1920) の前後三回の探検、ペフツォフ (M. V. Pevtsov, 1843—1902) ロボロフスキー (V. I. Roborovski, 1856—1910) の数次にわたる探検調査などがあつた。(ブルジュヴァルスキーのことは既述したので省略する)。

さて、コズロフは1899年から1901年にかけて、ロシア地理学協会の指令でモンゴル、チベット探検隊隊長に任せられる。彼は、師ブルジュヴァルスキー未到の地に入る決意で旅出た。このときは、アルタイ山脈、コビ砂漠南下、涼州からココ・ノール(湖)、黄河の上流を極め、更に、東部チベット(カム)地域を調べた。このときの探検報告は、Mongoliya i Kamu. Trudi Ekspedichii.....Sovertchennoi v 1899—1901.....で露都ペテルブルグで1905—08年に出版された。この書には師への献呈の辞があり、また、地理学協会の賞牌が授けられた。本書は、1947年に、モスクワで増補再版されている。

さらに、コズロフは1907年秋に、ロシア地理学協会から、モンゴル・四川探検隊隊長に任命せられた。総勢14名、1行は、国境の町キャフタを1908年早々に出発して、モンゴリアに入った。更に南下して西夏国の故都黒城(カラホト、またはハラホト)を目ざす。彼が、カラホトに深い関心をもったのは、かつて、同僚ポターニンからこの町の廢墟がある由を聞いたからであったという。土地の権力者の許可をとって、遺跡の町を探しあてたときは、1908年4月上旬であった。深田久弥氏に依るとこの遺跡は、海拔、870メートル、北緯41度45分50、東経101度5分14のところである。縦450、横400メートルの矩形の城跡で城壁に囲まれたところである。10日内外の発掘で、佛画、佛具、古文書、典籍、装飾品、貨幣、生活用品等、おびただしい数量の収獲があつた。

さらに、この辺りアラシヤン砂漠で難行したり、青海省のココ・ノール(湖)地域に至ったり、アムド地方からラウランに赴いた。この頃また、本国の地協からの指令で、カラホトの発掘物は大変貴重な西夏国のも

のであるから、再度、調査しろとの命令が来た。四川省の深入り調べは断念して、1909年6月上旬、再びカラホトの遺跡に着いた。

死の町とっていたほどの淋れた町はたちまち生気に満ちた。興奮の徹底的の調査発掘が、約1ヶ月余り続いたという。

このたびは、城趾ばかりか、城外の地からも多くの貴重な発見があった。古文書、典籍、佛画、織物等約3,000点以上のおびただしい発見資史料は、未詳の国西夏王国の歴史を知る上で、また西夏文字の解明に重要な影響をもった。殊に『番漢合時掌中珠』と表題された西夏文字と漢字のテキストは、以後の西夏学の世界に一大光明をもたらしたといわれている。

カラホトの二次の発掘調査を終り、コズロフは、途中動植物の採集などをしながら、帰国の途につき、北上して、1909年8月ウルガに帰りついた。

この旅行記は、
Mongoliya i Amdo i mertvii gorod Khara-khoto.
Ekspedichiya Russkago Geograficheskago Obshtchestva v Nagornoj Azii.....1907—1909. 1923.
Leningrad.

この本の再版は、モスクワで1948年に出版された。また、ドイツ語訳もあり、日本語抄訳もある。

コズロフは、旅行記の最後に“わたしの思いは、もう一度アムド、ラウラン、ココノール、カラホトへと急ぎ立ち帰った……”とあるという。コズロフは、カラホト発掘報告、その他を終ると、すぐに、次のラサへの新しい探検の準備にとりかかった。グライ・ラマの面会許可をとりつけておいたからである。しかし第一次世界大戦の勃発で中止となる。革命後はソヴィエト地理学協会の支持で、モンゴルとチベットの探検を準備したが、今度はイギリスの横槍が入って、行けなかった。

1923～26年まで、ケンタイ山脈とハンガイ山脈一帯の探検をした。ケンタイ山脈のノイン・ウラでは考古学・史学的大発見があった。匈奴の墓群を発見して、10基を発掘したのである。絨毯、毛織物、絹織物、木工品、金属製品、土偶、漆器、などフンの遺品多数を発掘した。匈奴文化史研究上不滅の功績であった。

1926年コズロフは、再び、カラホトの遺跡地を訪れている。

カラホトの西夏史料や遺品、ノインウラの匈奴の遺物発掘発見は20世紀前半期の最大多量の大発見のひとつで、学界に貢献するところおおきかった。

その他の関連文献抄：

Roborovski, Vsevolod Ivanovich: Putechestvie v

Vostochnii Tgan-Chan i v Nan-Chan. Trudi Ekspedichii Russkago Geograficheskago Obschestva po Chentralnoi Azii v 1893-1895 gg. (reprint) Moskva. 1949.

.....& **Kozlov:** Predvaritel'nyi otchet o trekhlietnem putechestvii po Chentralnoi Azii V.I. Roborovskago i P.K. Kozlova. Peterburg. 1897.

.....Trudi Ekspedichii Imperatorskago Russkago Geograficheskago Obschestva po Chentralnoi Azii, covershennoi v 1893-1895 gg. Peterburg. 1900.

Kozlov 本のドイツ訳

Mongolei, Amdo und die tote Stadt Chara-Choto. Die Expedition der Russischen geographischen Gesellschaft, 1907-1909. Vorwort von S. Hedin. Hrsgz. von Wm. Filchner. Berlin. 1925.

Die Mongolei, Amdo und die tote Stadt Chara-Choto. Übers. von H. Sträubig. Leipzig, Brockhaus. 1955.

日本訳

蒙古と青海(西域探検紀行全集第11)、西義之訳
白水社、1967

ブックガイド 81、知の事典

(朝日ジャーナル臨時増刊 3月25日号) ¥420

昨年に引き続き2回目の企画だという。今回は辞書、事典、年鑑といった「レファレンスブック」に中心をおき、種本は日本図書館協会の「日本の参考図書解説総覧」1980年によった事を明らかにしている。

内容は 1. 百科事典と年鑑、2. 人名録、3. 白書と統計、4. 政治、他に歴史、語学、文学をはじめ人文科学全般17項目と、自然科学は、18. 科学技術一般、19. 宇宙と地球、20. 動物と植物、他に医学、建築、地理等12項目を含み全部で39のテーマに及んで、文字通り森羅万象を包括している。各項目は30点前後のセレクトされた資料をあげ、夫々に2~3行程度の簡単な解説が附され1ページにまとめられている。そしてそれぞれの各項目にふさわしいと思われる、専門家のかなり自由な立場でのエッセーが、1~2ページにわたって載せられている。全体を見渡して言える事は、矢張り日本語のレファレンスが中心である。たまに横文字のレファレンスが紹介されているが、考古学(第8項目)に英語文献が5点、建築(第26項目)に1点程度である。これだけでは物足りない例えば、経済(第6項目)の伊東光晴氏のエッセーを読めば、「リカードの蔵書」をさる古書店で入手したいきさつなど、東

京の古書街はこと経済学の洋書に関する限り、なかなかのものとの紹介がある。その他、考古学の酒井傳六氏、世界史(第10項目)の樺山紘一氏、美術(第16項目)の高階秀爾氏等、それぞれ海外のレファレンスの紹介も含めて書かれている。恐らく各項目にあげられた30点前後のレファレンス文献は、担当したエッセイストも目を通してと思われるが、双方併せ読む事により、各テーマがより一層面白く且つ生きてくるであろう事は、編集者の意図もその辺にあった事と想像出来る。

他に読物として「国立国会図書館」の利用体験記や、「広辞苑」「理科年表」「現代用語の基礎知識」の編集者たちを訪問した記事、「インターナショナル Who's Who」のEuropa Publicationsの本社を訪ねた記事など、利用する側、作る側からのルポとして大変興味深い。わずか200ページ足らずの冊子にこれだけのものを盛り込めば、総花式的な印象は免れ得ないと同時に、同誌の性格上、出版物の広告、特にレファレンスとは関係がないような広告の多いのが多少気になるが、全体としてまあまあ出来と言えよう。

(KBK・K.W.記)

総代理店ご案内

(株)伊國屋書店 ☎ 354-0131

SLATKINE REPRINT, Switzerland

Proudhon, Pierre-Joseph

Oeuvres complètes. Nouvelle éd. publiée avec des notes et des documents inédits. Réimpression de l'éd. de Paris, 1923-1959. Genève, 1980
15 volumes-en 19 tomes-9058 p. reliés ¥288,000

SPECTRUM/VNU INT'L, The Netherlands

Linguistic Bibliography.

all back volumes prices upon request

ユナイテッド・パブリッシャーズ・サービス社

☎262-5278

Princeton University Press, U.S.A.

Taylor: Pseudodifferential Operations.

(Princeton Mathematical Series, 34)

.....ca ¥12,740

Van Nostrand Reinhold Co. U.S.A.

Constantine & Larsen: The Art Fabric; Mainstream.ca ¥11,190

Friendly Publications, Inc.

Creative Black Book 1981, 2vols in case.

.....ca ¥9,800

次の出版社の取扱いを停止いたしました。

Gale Research Co., U.S.A.

海外ニュース

「英国の出版点数減少の傾向」

1981年第1/4半期（1～3月）の英国出版社の総出版点数は9,709点であった。このうち新刊書は7,706点、重版書は2,003点である。この数字を1980年の同期と比較すれば、トータルでは13.2%の減少であり、新刊書は10%、重版書は24%もの減少である。トータルの数字は1979年同期と比較しても0.5%の減少である。

分野別に見ても、美術（65点増）と自然科学（7点増）を除いて他の分野は軒並み減少している。中でも医学は229点、約27%減少、小説は202点、約15%減少、児童書は60点、約15%減少など目立っている。

この減少傾向はむしろ英国の業界では歓迎されている。ここ2、3年不況下にあつて出版点数だけ異常に伸び続けており、ストックのスペース、プロモーションなどもこれに追いつけぬ傾きがあつたからである。もちろん最初の3ヵ月間の統計では全般を占うことはできぬが、歓迎すべき傾向として注目されている。

（The Bookseller 4月4日号より）

—紀伊國屋書店提供—

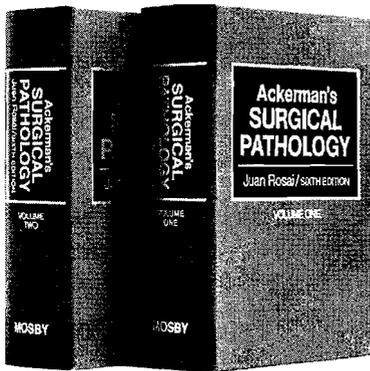
BDC代表団名簿

6月16日から24日まで訪日する Book Development Council Missionへの参加者は次の通りである。

| | |
|-------------------------|------------------------------------|
| Graham, Gordon (Leader) | Butterworths & Co |
| Read, Anthony | Director, Book Development Council |
| Bennett, Bryan | Edward Arnold |
| Gadsby, David | A & C Black |
| Goldsmith, Terrence | Blandford Press |
| Duncan, Robert | Churchill Livingstone |
| Halstead, Amanda | Croom Helm |
| Chester, Richard | Granada |
| Campbell, Hugh | Paul Hamlyn |
| Warlock, David | Thomas Nelson |
| Warshaw, Stephen | Oxford University Press |
| Kewley, David | Pan Books |
| Pringle, Ian | Pitman & Sons |
| Tickell, Patrick | Technical Press |
| Kibby, Roy | Transworld Publishers |
| Macgibbon, Hamish | Heinemann Educational |

来日外人名簿

| | |
|------|---|
| 4月上旬 | Mr. Charles Orwin, Faber & Faber, London |
| " | Mr. Eric Newman, Regional Manager-Asia Butterworth & Co. (Pub.) Ltd., Singapore |
| " | Mr. Martin Berke, Managing Director Book Service International, Connecticut |
| " | Mr. John Blake, Export Manager, Penguin Books, Harmondsworth |
| " | Mr. Gary L. Cooper, Manager, East West Export Books, Honolulu |
| " | Mr. R.E. Brammah. OUP., London |
| 4月中旬 | Mr. Kurt Lingenbrink, President, Georg Lingenbrink GmbH & Co., Hamburg |
| " | Mr. Gerard Hamon |
| " | Mr. Gerard Camblong, Direction Export Livres Hachette International, Paris |
| " | Mr. Peter Barnes, G. Weidenfeld & Nicol- son Ltd., London |
| " | Mr. J. Barsky, President |
| " | Mr. A.W. Craven, Senior Vice-President, Academic Press, New York |
| " | Mr. K.D. Kirk, Professional Books, Ltd., Oxon |
| " | Mr. D.S. Mortimer, Managing Director Longman Group Ltd., Harlow |
| 4月下旬 | Mr. Mark Holland, Marketing Director Harvester Press Ltd., Sussex |
| " | Mrs. Carolyn T. Donahue, Vice-President Williams Wilkins, Baltimore |
| " | Mr. Peter F. Shepherd, Marketing Director Associated Book Pub. (UK) Ltd. Andover |
| " | Mr. Allan Eady, Director, Crown Pub. New York |
| " | Mr. Gunter Heyden, Managing Director, Heyden & Son Ltd. London |
| " | Mr. Adrian Soar, Managing Director, Macmillan Press Ltd., London |
| " | Mr. Nicholas Byam Shaw, Managing Director, Macmillan Pub, London |
| " | Mr. Christopher Helm, Joint Managing Director, Croom Helm Ltd. London |



アッカーマン外科病理学

New 6th Edition

Ackerman's SURGICAL PATHOLOGY

in 2 vols.

by Juan Rosai, M. D.

外科病理学の代表的な成書である本書は、病理学に携る医師、研究者、また病理検査データを活用する臨床家、外科医、レジデントに対し、初期病変から全身化するまでの病状経過および、それらが個々の臓器と機能にもたらす結果について、必要な病理学上の情報をもれなく提供している。

第6版は、電顕、免疫蛍光検査、組織化学などの進歩を大巾にとり入れ、内容を全面的に刷新した。頁数の増大と扱い易さを考慮して体裁を2巻本に改めている。

今回あらたに採用された多数の病理写真と図表は、外科的治療を必要とする諸疾患の臨床像と病理所見の関連を明示し、正確な病理学的診断と適切な治療を導いている。また“Gross techniques in surgical pathology”と“Bone marrow”の二章が追加された。

(なお発行が大巾に遅れ御迷惑をおかけしましたこととお詫びします。)

Outline of Contents:

- | | |
|---|---|
| 1) Introduction | 15) Adrenal gland and other paraganglia |
| 2) Gross techniques in surgical pathology | 16) Urinary gland and other paraganglia |
| 3) Skin | 17) Male reproductive system |
| 4) Oral cavity and pharynx | 18) Female reproductive system |
| 5) Mandible and maxilla | 19) Breast |
| 6) Respiratory tract | 20) Lymph nodes |
| 7) Mediastinum | 21) Spleen |
| 8) Thyroid gland | 22) Bone marrow |
| 9) Parathyroid glands | 23) Bone and joints |
| 10) Gastrointestinal tract | 24) Soft tissues |
| 11) Salivary glands | 25) Peritoneum, omentum, mesentery, and retroperitoneum |
| 12) Liver | 26) Cardiovascular system |
| 13) Gallbladder and extrahepatic bile ducts | 27) Neuromuscular system |
| 14) Pancreas and periampullary region | 28) Eyes and ocular adnexa |

2 vols.: 1,832 pp. 1,639 illus. 6th ed. 1981 定価 ¥41,600 5月入荷

The C. V. Mosby Company, St. Louis

日本総代理店 医学書院洋書部

昭和56年5月 通巻第169号 洋書輸入協会 編集者 柴田 三夫

☎ 103 東京都中央区日本橋1丁目20番3号 藍沢ビル302号室 ☎ 271-6901

☎ 530 関西支部 大阪市北区芝田1-10-2 第一山中ビル ☎ 371-5329